

IoT導入により、社内外から信頼される企業を目指す

同社は、自動車用プレス金型メーカーに高品質な鑄物を短納期で提供している。フルモールド鑄造への特化による多品種少量生産、マシニングセンタやCAD/CAMの導入による発泡模型製作の完全内製化が同社の強みとなっている。また、女性従業員の出産を機にリモートワークの環境を整え、今では生産管理の見える化や三次元CAD等もリモートワークで可能に。近年はRPAを使った無人解析を導入するなど、日本の働き方改革に貢献し社内外から信頼される企業を目指す。

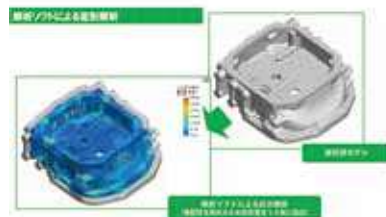
所在地 三重県伊賀市予野西出2624
電話/FAX 0595-39-0080/0595-39-0081
URL <https://koyochuzo.co.jp/>
代表者 代表取締役 白江 肇英

設立 1955年
資本金 4,800万円
従業員数 48人



鑄造解析ソフト、三次元測定器導入による高付加価値化

鑄造品のひずみ等への対策として鑄造解析ソフトを導入した。鑄造解析シミュレーションを通じて事前に問題点を可視化でき、設計段階から肉厚や熱応力等に関する逆提案を顧客に行う等、発泡模型の製作と同時に鑄造品の高品質化も実現。加えて、三次元測定器を用いた薄肉製品などの高精度化を進めており、要求レベルが高い試作案件でも短納期対応が可能となっている。また、型管理はCADデータで行っているため、図面の検索効率の向上、紛失防止や保管の省スペース化も実現できている。



鑄造解析ソフトの導入

IoT推進チーム組織化によるさまざまな成果

5年前にIoT推進チームを組織した。これに先行して導入したデジタル帳票システムとの併用により、生産工程のデータ取りやフィードバックが見える化することができた。これにより、高品質な製品を効率的に生産する体制整備を実現。この結果、不良率が半減するという大きな成果が出た。その後も、RPAを使った無人解析（凝固、熱応力）を開始し、今では200件/月の解析を無人でこなすことで品質の安定のみならず省人化（残業時間半減）も実現できている。



IoT推進室

ダイバーシティ経営の推進

能力がある従業員は、女性、外国人を問わずグループリーダーへ登用している。また、女性従業員の出産を機に、リモートワークの環境を整備した。現在は生産管理システムの他、三次元CAD等もリモートワークで操作可能になっている。さらに、外国人技能実習生に対してCAD/CAMの教育を行い、彼らの帰国後もフリーランス契約でCAD/CAM業務をオンライン委託。国籍に関係なく優秀な人材を確保・活用している。また、学会の場で若手従業員にプレゼンの場を提供し、若手にも活躍できる機会を提供している。



女性、外国人、若手が活躍できる職場